

Rotary
District 2640



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017

4月

地区テーマ

対話から新たな一歩へ
共に楽しむロータリー

GOVERNOR'S
**MONTHLY
LETTER**

母子の健康月間

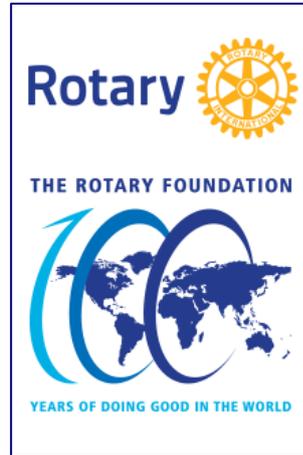
ガバナー 福井 隆一郎
Governor *Ryuichiro Fukui*



District
2640

2016-2017 年度
国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー事務所

〒590-0985 堺市堺区戎島町 4-45-1 ポルタスセンタービル 1 階 101 号室
TEL (072) 223-1000 / FAX (072) 223-1005
HP : <http://rid2640g.com/fukui> / E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp



ポリオ撲滅をご支援ください。

2016-17年度は「ロータリー財団創立100周年」です



<http://rid2640g.com/fukui/>



<http://www.rotary.or.jp>



<http://www.facebook.com/RotaryJapan>

目 次

4月のRI会長メッセージ	RI会長 ジョン・ジャーム	1
4月のガバナーメッセージ	ガバナー 福井 隆一郎	2-3
コーディネーターニュース 4月号		4
ハイライトよねやま 204		5-6
分区8大阪の活動	ガバナー補佐 上松瀬 洋	7
分区7大阪 合同例会・懇親会	ガバナー補佐 藤原 重行	8
会員増強のために元気なクラブを作ろう		
	地区会員増強維持委員長 垂井 一	9
地区活動報告		
クラブ青少年交換委員会の報告	地区青少年交換委員会委員長 山田 正人	10
2016学年度 米山奨学生終了式	地区米山記念奨学委員長 近森 裕子	11
クラブ活動報告		
熊本地震復興支援チャリティーコンサート	大阪狭山ロータリークラブ	12
チューリップリレー・卒業記念アルバムの贈呈	和歌山西ロータリークラブ	13
台南中区扶輪社(RC)との強い絆	堺おおいずみロータリークラブ	14
フィリピン・セブ島で「水 支援プロジェクト」	海南東ロータリークラブ	15
ロータリー モニュメント		
創立 60 周年記念事業について	泉大津ロータリークラブ	16
創立 25 周年記念事業	田辺はまゆうロータリークラブ	17
我がクラブのテーマ		
堺中ロータリークラブ		18
羽衣ロータリークラブ、堺ロータリークラブ		19
堺清陵ロータリークラブ、堺東南ロータリークラブ		20
地区会員数・出席報告	2017年2月	21
行事予定	2017年4月	22

ワクチンの素晴らしい効果

2016-17 年度 国際ロータリー
会長 ジョン・ジャーム

親愛なるロータリアンの皆さん、世界的には、先進国でも発展途上国でも乳幼児の死亡率は低下しており、平均寿命は延びてきています。1960 年には、新生児 1,000 人のうち 182 人が 5 歳になる前に亡くなっていました。今日では、この数は 43 人にまで減っています。1960 年、子どもが生まれた時、平均寿命は 52 歳でしたが、今年生まれた子どもたちは平均で 71 歳まで生きると考えられています。

当時も今も、子どもの人生を決定する主要因は、この世に生を受けた時にほぼ決まっています。生まれた場所、家族の学歴や経済的な事情、医療が受けられるかどうか。公衆衛生における最も重要な進歩の一つが世界中の国々に行き届いた今、すべての子どもに行きわたらせなければならぬものがあります。それは予防接種です。ワクチンの接種により、ジフテリアや破傷風、風疹など、かつてはまん延していた疾病が世界中の多くの地域でほぼ根絶しています。ワクチンのおかげで、2000 年以降、2,000 万人の命がはしかから救われました。天然痘は根絶されています。次はポリオです。

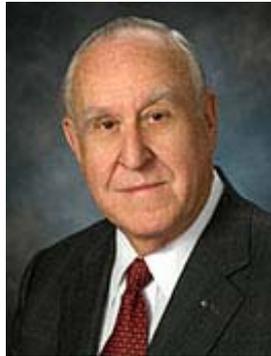
30 年前には、ポリオの症例数は全世界で年間約 35 万件と目されていました。2016 年のポリオ発症例はわずか 37 件です。これは史上最低の記録です。安全で信頼性が高く安価なワクチンが広く使われるようになったため、この 37 人以外はポリオにかからずに済み、体がまひすることも、命を落とすことから免れました。

世界保健機関 (WHO) によると、予防接種によって全世界で 200 万～ 300 万人の命が

救われていると推定されています。また、まひによる障がいと経済的損失という莫ばくだい大な負担も回避できます。とはいえ、私たちにはもっとできることがあるはずで、世界中のワクチン接種率を上げることで、さらに 150 万人の命が救えるのです。

4 月 24 ～ 30 日に、ロータリーは WHO、ユニセフ、アメリカ疾病対策センターとともに世界予防接種週間の実施に参加し、ワクチンがグローバル医療に与える素晴らしい効果について人々の意識を高める活動を行います。今年のテーマは「Vaccines Work (ワクチンは効く)」です。ワクチンには効果があるのです。ワクチン接種率が上がれば、公衆衛生上の幅広い影響が得られます。ウイルス性肝炎を抑制し、抗生物質の必要性と抗生物質による耐性菌の発生率を下げ、より多くの子どもや若者たちに必要不可欠な医療を届けることができるようになります。健康な未来への最大の可能性をあらゆる子どもに与えるために、世界中のどの地域でも、定期的予防接種が重要であることには変わりはありません。

確かなことは何一つないこの世の中で、ワクチンは、「子どもたちを一生守る」という素晴らしい贈り物を与えてくれます。ポリオやほかの予防可能な疾病からすべての子どもたちを守るために共に活動することで、ロータリーは真に「人類に奉仕」しているのです。今の世代にも、これから生まれてくる世代にも。



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 福井 隆一郎

ガバナーノミニー・デジグネート 誕生

堺東ロータリークラブから、
2019-2020 年度のガバナーとして中野 均氏が確定宣言され、国際ロータリーに登録されました。これは本年 1 月末から各クラブへ推薦のお願いをし、中野 均氏お一人の推薦があり、取り決めにより締め切り後、確定宣言をいたしました。



中野氏は長年 地区財団委員長をお務めになり、地区内外から人望の厚いロータリアンです。樫畑ノミニーそして中野ノミニーデジグネートと、素晴らしい人材が出現しました。これからの 2640 地区が益々発展するよう、期待しています。基よりガバナーの選出は地区にとって大変大きな仕事です。このような素晴らしい方々の出現は、私にとって、地区全体にとっても大変喜ばしいものです。これからも 2640 地区のロータリアン全体が考えなくてはなりません、地区には素晴らしい人材が沢山おられます。ガバナーの仕事は一人では到底出来るものではありませんが、クラブ内での協力、近隣クラブの協力など多くの方々が携わって、初めてできるものです。どうぞお一人でも多くの方々が貴重なガバナーとしてのお仕事をご経験されるのも価値のあることだと思います。指名委員による選出、今回のような選挙による方法。選出方法は様々ですが、毎年素晴らしいガバナーの出現が地区を未来に向けて大きく前進します。現在、中長期委員会でも大きな問題として、取り上げています。過去に様々な辛苦を味わった 2640 地区ですが、叡智を結集して、皆様のお力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

分区 7 大阪

3 月 4 日 泉大津のホテル・きららリゾート関空で、分区 7 大阪の合同例会・懇親会が開催されました。藤原ガバナー補佐の御指導の下、高石、泉大津、和泉、大阪狭山の一部の地区の会員が大勢集まり、大変にぎや

かな合同例会になりました。テレビでお馴染みの軍事アナリスト 小川和久氏（静岡県立大学特任教授）の大変興味深い講演があり、多くの質問も飛び交う熱気あふれる会になりました。分区の活動として素晴らしいものでした。その後懇親会があり、平岡パストガバナーもお越しになり、大いに盛り上がった懇親会でした。藤原ガバナー補佐様、ありがとうございました。今後もこのような活気あふれる分区の活動をお願いいたします。

クラブ青少年交換委員長会議

3 月 5 日 泉佐野のりんくう国際物流センター会議室で、山田青少年交換委員長が主催する青少年交換委員長会議が開かれました。山田委員長から青少年交換の



サイクル、予算、流れをご説明頂いた後、ROTEX の堤君、高石君による海外留学体験のお話があり、ロータリーからの留学の素晴らしさを話されました。単なる留学とは違い、ロータリーという世界的な人の輪が留学生生活を後押しして貴重な体験をし、今後の人生に大きな経験を生かしていきたいと話され、会場の地区からの大勢の会員の共感を頂きました。お世話していただくロータリアン、先生は大変なご努力が要りますが、若い学生の成長する姿を見て良かったという充実感に満ち溢れます。今後も交換学生の応援をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団補助金セミナー

3 月 25 日 泉大津市のテクスピア大阪にて、ロータリー財団補助金セミナーが開かれました。中野 均ロータリー財団委員長が財団ハンドブックに基づいて、約 2 時間講演されました。これは次年度ロータ



リー財団の地区補助金を活用するため、のセミナーでありまして、よくご理解いただいて、クラブとしての財団活動をするために非常に役立ったと思います。以前から財団の活動については、非常に難しい点が多々ありますが、小さなことでも結構ですので、是非クラブとしての活動を積極的に進めていただきたいと思います。又、山本財団資金推進小委員長より、年次寄付0クラブをなくそうと皆様へのご協力をお願いしていただきました。今年は財団100周年です。各クラブの積極的な財団へのご協力をお願い申し上げます。

米山記念奨学生終了式

3月19日に泉大津市のホテル・きららリゾート関空にて米山奨学生の終了式が行われました。今年度は継続学生を含めて14名の学生です。近森委員長の挨拶が



行われ、一年間学生が大学での勉強、カウンセラーにお世話になったこと、米山奨学生同士のコミュニケーション、又、ローターアクト、インターアクトとの交流など、厳粛な終了式に始まり、学生一人

一人のスピーチなど、盛りだくさんな内容でした。特に学生やカウンセラーからの思い出話では、素晴らしく上達した日本語でのスピーチに驚きました。全く日本語が話せない中で来日し、一年でこれだけ素晴らしい日本語を話せることに感激をしました。中には本国

からご父兄も来られて、素晴らしい終了式でした。それぞれ就職したり、上の学校へ行ったり、進路は様々ですが、この絆をずっと持ち続けてほしいものです。そしていずれ



はロータリアンとして、この恩に報いていただけたらと思います。学生からは異口同音に、ロータリーの米山奨学制度の素晴らしさは他の奨学制度とは違って、人間同士の交流や友情を含めて、他に類を見ないものと絶賛していました。これからもどんどん成長してほしいとお祈り申し上げます。今年の委員長の近森さんは、大変熱いお気持ちで米山委員長に就任され、日を追うごとに米山学生に対する情熱がヒートアップしてきているような気がしました。この終了式では、近森委員長の思いが最高点に達したかのような感じでした。各委員の皆様、大学関係の先生方、カウンセラーの皆様にも大変お世話になり、心より御礼申し上げます。

会員基盤向上セミナー（東京）

3月27日・28日の両日東京のホテルオークラで、会員基盤向上セミナーが行われました。全国から約250名近いロータリアンが参加し、大変



盛り上がったセミナーでした。特に第一日目の会員増強維持とクラブ活性化のセミナーでは、全国から多くの発表者が登壇し、貴重なお話がたくさんありました。どのクラブでも会員の減少傾向は避けられない状況のようです。冒頭、斉藤理事がR Iの考え方と日本のロータリーとをどう結びつけるか？規程審議会の内容をどうとらえるか？まさにこの会員増強がR Iの考え方に柔軟に結び付け、クラブのこれからの未来に向けて方向づけることが大事だと言われました。先日発表もありましたように、日本のゾーンが7月から2.5ゾーンに縮小されます。逆に韓国は2ゾーンに増え、台湾は1ゾーン獲得したようです。数の事だけ言えばいろんな問題がありますが、現在・未来に向けていかに柔軟性をもってクラブ運営をしていくかが問われています。今回の会員増強のセミナーの内容は近々お知らせできると思いますが、これからの日本のロータリーにとって、大切な時期に差し掛かっていると思います。

中長期委員会

ホームページにも掲載しましたが、中長期委員会で、地区事務所の固定化について、アンケートをお出しし、各クラブより回答をいただきました。アンケートの内容につきましては、ホームページをご覧いただけましたらと思います。今年度も残すところ3か月になりました。その間、各クラブの皆様には、何かとご迷惑をおかけしましたが、少しでもR Iそして地区との結びつきを深め、迅速な情報の提供をしなければと日々努力しています。その為に改善すべき点が多々あります。多くのクラブから頂いた貴重なお声を大事にし、これからの地区運営をいかにすべきか？この問いを真剣に考える機会と、その実現に向けた方向を決めることが大事であると思います。





クラブ数	会員数
Zone 1	829
Zone 2	653
Zone 3	791
合計	2,273

2017年3月8日現在の Rotary Club Centralのデータによりです。
第2ゾーンの数値には GUAM, MICRONESIA, NORTHERN MARIANAS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数
186件(1. 2. 3ゾーン合計)

ロータリーって何？

自分自身と自分の職業を磨きながら
地域や国際社会に奉仕する団体です
あなたも参加しませんか？

■Rotaryって何？

この問いをロータリアン各人に質すと、おそらく100人100様でしょう。
これでは、世間の方々にロータリーを理解して頂く事は出来ないでしょう。
○まずは、クラブでこの事を話し合ってみましょう。
○何を説明するか？ つまり何を話題にするのか？ を考えましょう。
○説明する言葉（文字数）は、少なければ少ない程良いでしょう。
文字数が多くなれば、その分印象が薄くなります。

ロータリーを正しく伝える為に、まずは「ロータリーの目的」を伝えるべきです。
「ロータリーの目的」は大分解り易くなりました。四項目を要約すると

- ・知り合いを広め奉仕の機会とする。
- ・職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものとする。
- ・社会生活に於いて奉仕の理念を実行する。
- ・ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する。

上記を少し短くしてみました。[第2570地区公共イメージ委員会作成の例]

「ロータリーって何？ 自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。」
「ロータリーは、自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。その一環として私達のクラブは、地域で青少年育成事業の支援を行っています。」と訴えれば理解されるでしょう。

更に短く考えた川柳の例もあります。「我磨き仕事を磨くロータリー、地域や世界で奉仕活動」

さあ！あなたのクラブでも「ロータリーを短く表す」事にチャレンジしませんか。

■同一地域に複数クラブが存在する場合

この場合は、同一地域の複数クラブが歩調を合わせた社会奉仕を行ったら如何でしょうか？
夫々のクラブが、協働してこそ効果が表れます。

各クラブの歩調が合っていないと、(広報の面からは)夫々がマイナス効果となってしまいます。

■最期に一言

効果を期待するならば、直ぐに実行すべきです。議論しても実行しなければ何の効果もありません。
上方の写真は、第2570地区で広報シートを作成して大型バスのリアウインドウに貼り付けた例です。

小池百合子東京都知事は29年2月の記者会見のある場面で「NATOにならないようにしよう」と言いました。
「No Action Talk Only」では先へ進まないという事です。
勿論、本来のNATO…北大西洋条約機構を否定する言葉ではありません。念の為。

(第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 鈴木秀憲)



ハイライトよねやま 204

2017年3月13日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — やや回復傾向に—

2月までの寄付金は、前年同期と比べて5.2%減（普通寄付金1.1%増、特別寄付金8.6%減）、約6千万円の減少となりました。7月からの累計金額は直近5年間のほぼ平均額ですが、2月単月では3カ月ぶりに対前年同月比がプラスとなりました。多くのロータリアン、学友の皆さまからのご支援に心から厚く御礼申し上げます。今年度も残り3カ月半となりました。年度末に向けて、さらなるご協力賜りますよう、よろしく願いいたします。

ミャンマーに9番目の海外米山学友会が誕生！

ミャンマー出身の学友・奨学生 22人が2月25日、ヤンゴン市内に集まり、海外9番目の米山学友会となるミャンマー米山学友会の設立総会が開催されました。初代会長に就任したタンシンナインさん（2003-05/東京調布RC）は東京米山ロータリーEクラブ 2750の会員であり、同学友会の創立を心待ちにしていた第2750地区会員をはじめ、学友の世話クラブ会員、当会から小沢一彦理事長と岩邊事務局長など、日本から多数のゲストが出席。また、2014年に旭日小綬賞を受章したミャンマー初の米山奨学生、アウン・チョウさん（1962-66/東京北RC・東京南RC）も家族とともに参加し、総勢約60人が設立を祝いました。地道に学友を探して学友会設立への準備を重ねてきたタンシンナインさんは、「今後は、日本語を学ぶ学生への奨学金支給や貧しい小中学校への支援なども行いたい」と、抱負を語りました。



マレーシア米山学友会が設立記念パーティーを開催

昨年9月に設立されたマレーシア米山学友会の設立記念パーティーが2月18日、ペナンで開催されました。マレーシア出身の奨学生・学友 20人のほか、初代会長となった黄麗容さん（2001-04/横浜泉RC）の出身である第2590地区の米山記念奨学委員会メンバーをはじめ、第2780地区・第2660地区・第2550地区のロータリアン、関西・台湾・タイの各米山学友会の会長や会員、家族など多数が参加。また、地元のジョージタウンRC、ペナンRCの会員も祝福にかけつけ、総勢113人の盛会となりました。パーティーでは、学友会の立ち上げから参画している現役奨学生、チュアー、チーシェンさん（真岡RC）の司会のもと、黄会長から設立に至るまでの経緯や感謝が述べられ、在ペナン日本国総領事や当会の小沢理事長から、学友会への期待を込めた祝辞が贈られました。



余興の民族舞踊にゲストも参加するなど、終始楽しいムードで盛り上がり、日本からの参加者の一人は、「あらためて米山奨学事業に加わることができることへ感謝の思いが湧き、ロータリアンであることをうれしく感じました」と、感想を述べてくださいました。

学友が「若者力大賞」を受賞！

社会のために情熱を持って活動に取り組む若者とその支援者を表彰する「若者力大賞」（主催：公益財団法人日本ユースリーダー協会）の授賞式が2月21日に開かれ、米山学友のジギャン・クマル・タパさん（2008-09／横浜たまRC）が第8回若者力大賞を受賞しました。外国人の受賞は今回が初とあり、当日は駐日ネパール大使のほか、在日ネパール人協会関係者、ネパールの報道関係者も多数駆けつけました。

タパさんは現在、かながわ国際交流財団職員および駐日ネパール大使公式通訳者として活躍していますが、地域への政策提言のほか、日本の学生が海外への理解を深める講演活動、また、ネパール大地震や熊本地震など被災地における継続的支援といった、幅広い活動と行動力が評価され、69組のエントリーの中から見事大賞に輝きました。



大賞を受賞したタパさん(前列左から3人目)

ただいま！久しぶりの世話クラブ訪問

董際国さん（中国／1998-99）は今年1月、約20年ぶりに世話クラブの山形中央RCを訪問し、新年会に参加して会員との交流や餅つきを楽しんだほか、博士号取得の記念品を受け取りました。「多くのロータリアンの方が私を見て“思い出した！”とニコニコし、里帰りしたような温かい記憶が蘇りました。（博士号取得記念の）腕時計は私の一生の宝で、誇りです」と語り、今度は家族での再訪を約束しました。

剣道の中国代表選手となった楊敢峰さん（中国／2004-05）は2月10日、教え子である蘇州大学の学生3人とともに来日し、水戸南RCを訪問。カウンセラーの奥様の墓参りをしたほか、例会で自身の近況を報告し、学生が中国武術や太極拳を披露しました。「知っている会員は少なくなったが、中国へ帰国後の自分の活動をみなさんに報告できてホッとしました。今もこれからも米山奨学金に感謝しています」と、語りました。

また、関美玲さん（中国／2003-04）も2月17日に上海から東京武蔵府中RCを訪れ、会員に近況を報告。「緊張して頭が真っ白になり、何をご挨拶したか覚えていないくらいですが、米山奨学金のおかげで実験や論文作成に集中できた当時のことのように脳裏に浮かび、本当に感動しました」と、述べました。

南米ホンジュラスからはるばる来日したエドナ・スヤパ・メヒア・ガルダメスさん（2006-07）は帰国以来10年ぶりに来日し、世話クラブの東広島RCの例会を1月に訪問。同クラブでは今後、母国で日本語を教える幼稚園・小学校を設立したエドナさんとの交流を深め、活動を応援していきたいと考えているそうです。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

分区8大阪の活動

ガバナー補佐 上松瀬 洋

私は、堺東 RC の会員です。堺市内には、11 のロータリークラブがあります。かつては、この 11 ロータリークラブが新春合同例会、11RC 連絡会、そして IM(インターシティミーティング)を長きにわたり、開催して参りました。



私達、堺 11 クラブが一同に会し、語らい、ロータリーライフを楽しんで参りました。

しかしながら、IM 制度廃止により、インターシティ ミーティングは取り止めになってしまいました。

11RC 連絡会は、ほぼ毎月開催されていたのですが、3 年前に、堺フラワー RC、堺フェニックス RC の 2 クラブが脱会して、9 クラブになりました。現在では、新春合同例会も 9 クラブにより開催されております。



その他には、私共の堺東 RC と堺おおいずみ RC が年 1 回、合同例会を持ち回りのホストで開催しております。

今年度、福井ガバナーのテーマ「対話から新たな一歩へ 共に楽しむロータリー」を実践すべく、山中ガバナー補佐の音頭で 4 (堺南・堺東南・堺中・堺北) クラブ合同例会を、10 月 13 日に開催しました。



会員の少ないクラブでも、3 つ、4 つのクラブが集まると大きな人数になります。1 つのクラブでは成し得ないようなプロジェクトでも、数クラブが集まれば共同で、いろいろなプログラムの遂行が可能になります。他の分区においても、合同例会を実施されているところがあるようですが、このような合同例会が、今後も続けられたら素晴らしい事であると思っております。

下期におきましても、4 月 27 日に、4 クラブ合同例会を開催することになっております。私共、堺東 RC と堺おおいずみ RC との合同例会も、今後、年 1 回ではなく、年 2 回、3 回と増やしていけるようになれば、素晴らしい活動ができると思っております。



分区7大阪 合同例会・懇親会

ガバナー補佐 藤原 重行

本年度 分区7大阪の7クラブは、福井ガバナーの地区運営の指針に沿い、「近隣クラブ活動の充実と人的な交流の活性化」の一環として、3月4日(土)泉大津市なぎさ町のホテルきららリゾート関空において泉大津ロータリークラブがホストを行い



『分区7大阪 合同例会』を開催致しました

年度替わりの4月を間近に迎える週末の開催となりましたが、天候に恵まれ福井ガバナー、山田代表幹事を始め、106名のロータリアンが一堂に集い、盛大に開催することが出来ました。

二部構成とし、第一部は講演会、第二部は合同例会・懇親会を開催いたしました。

講演会は、午後5時より軍事アナリストの小川和久先生をお招きし、「日本人に国を守れるのか、トランプのアメリカが問いかけるもの」という演題で1時間のご講演を賜りました。小川先生は、安全保障問題の専門家として日本政府の仕事にも携われ、また静岡県立大学特任教授としても静岡県の危機管理体制の見直しにも担当されており、日本国民の安全が高まるように日々尽力されており、現在の北朝鮮・アメリカ・中国についての考察や極東における安全保障についての説明がありました。



ご講演を拝聴し、日本は外交や危機管理の法整備を早急に行わなければならない。常に変化する世界に対して常に備えは怠ってはいけない。

また幾多の知識を得ることも出来ました。また講演会の後、僅かな時間ではありましたが質疑にも丁寧にお応え頂き意義な時間を過ごすことができました。

その後の合同例会・懇親会では、近隣クラブの旧知の知人が久々の再会を楽しんだ和気あいあいとした楽しい例会・懇親会となりました。



会員増強のために元気なクラブを作ろう

地区会員増強維持委員長 垂井 一

全国の地区会員増強と公共イメージ向上、ロータリー財団委員会委員長、ガバナー、Gエレクト、Gノミニーが、毎年東京で開催されるクラブ活性化の研修会、「国際ロータリー（RI）第1・2・3ゾーン会員基盤向上セミナー」に参加しました。



「ロータリーの友1月号」にも寄稿されている本田博己氏（前橋 RC）のお話から私が学んだ事をお話しします。

会員増強を考えるときの大切なこと

1. クラブ組織・基盤の強化
2. 会員一人一人のロータリアンとしての資質や能力の開発
3. これらの活動の結果としての会員増強

ということですので、まず、自分のクラブを好きになる、好きになれるクラブにする、好きなクラブだから仲間を増やしたいという意欲が湧くというものです。

そのためには、まずクラブの現状把握をすることから始めましょう。

「クラブ活性テスト」と「会員満足度アンケート」を実施して、各会員に自分のクラブの課題を認識してもらいましょう。小グループずつで議論をしよう。

ネット検索で、「CLP導入とクラブの活性化」（国際ロータリー第2510地区）を見れば、このテストやアンケートが記載されていますので、参考にして自分で作って実施してみましょ。この中の記事「ロータリークラブ強化のヒント」も目を通して見て下さい。（CLP：クラブ・リーダーシップ・プラン）

また、ロータリーの理念やRIの考え方を知ってもらうことも大切です。

そのために勉強会を開催しましょう。入会3か月未満の会員、3年未満の方に対する勉強会、それ以上の年数の方々との勉強会を開催しましょう。

つまり、

1. クラブの指導者がクラブの現実を真摯に把握分析する
2. クラブの将来像を事業計画として作る
3. テストやアンケート結果を事業計画に反映させる
4. 継続的に改革に取り組むことです。

さて、以下の会員増強維持に関する資料をネット検索して読んでみませんか。

「会員増強推進用手引き」（RI）
「クラブ会員増強委員会の手引き」（RI）
「クラブ会員増強・維持について」
（東京西 RC 鈴木隆志氏）
「元気なクラブづくりのために」
（マイ ロータリー）

“知り合いが増えるのは、最大の喜び。
会員増強を楽しもう！”

地区活動報告

地区クラブ青少年交換委員会の報告

地区青少年交換委員会委員長 山田 正人

地区クラブ青少年交換委員会を3月5日に開催いたしましたのでご報告いたします。



@次年度の長期留学、短期留学の応募に向けて

2018-2019年度 交換留学プログラムの説明会

31クラブからの出席があった。岡本年度で募集し、決定した派遣候補生は、ほぼ1年をかけて申請書を書き、成績証明書や予防接種などの必要な手続きと、海外生活をするための研修を受けて、檜畑年度が始まる8月に交換が始まる。日本から派遣生が出発すると同時期に海外から受け入れ留学生が来日し、日本での生活が始まる。この8月からの岡本年度で世話する交換留学生は、福井年度で決定し研修を重ねてきた生徒達だ。

このように、交換のために準備する期間と、実際に交換する作業とが、複数年度にまたがっているということを、まずクラブは理解して、準備していただきたい。

また、スポンサークラブになった場合のカウンセラー、ホームステイ家族、受入高校が抱える問題点をかいつまんで話をさせていただいた。



2人のROTEX会長の話

一人は、2013-2014年度の交換留学生の堤健登くん。彼はテキサス州の片田舎で1年間を過ごした。日本の数倍もある州には、日本人がほとんどいなくて、学校にも英語が使えない学生もいたり(メキシコからの移民の子ども達)して、留学生としての特別扱いはなかった。それが良かったという。3ヶ月は全く英語がわからずに苦労したという。苦労してアメリカ人と対等に英語を話せるようになり、留学中に素晴らしい英語の報告書を書き続けた生徒だった。裏には相当な苦労があったことが今わかった。人種差別を経験しながら、世界中から留学してきた生徒との出会いが、彼の人生を変えることになった。それだけではなく、当たり前のように一緒に過ごしてきた日本の両親と離れてはじめて感謝しなければならないことに気付いたと言う。ロータリーは発見の旅であり、冒険の旅であり、人生を変える旅であった。

もう一人の2009-2010年度のデンマークに留学していた高石環さんは、その後、大学でも再びデンマークへ留学した。青少年交換でデンマークに行った時は、デンマーク語は全くわからない状態で、6ヶ月は孤独を感じながら耐える生活だったという。ホームステイ家族との出会い、友達との出会いは、忘れがたく、自分も日本に来た留学生に自分がしてもらった親切を返したいという。

2人の濃い体験に、会場から質問があり、さらにロータリーの交換留学プログラムの良さを理解できた会であった。2人は、「若者に成長のチャンスを与えているこの青少年交換プログラムを継続、発展させていって欲しい」というメッセージを送ってくれた。

2016年12月の青少年交換委員会の研修で2770地区のバスターグバナー 渡邊和良氏の言葉を紹介する。『青少年交換プログラムは、高校生留学生を親善大使に育てるために存在するのではない。彼らが一人前の大人へ成長するために、ロータリアン自身が真の「奉仕の精神」を実践できているかが試されているプログラムなのだ。』

次年度の青少年プログラムの実践に、より多くのクラブが名乗りを上げて、ロータリー活動の活性化の一助にしていいただきたい。



2016 学年度 米山記念奨学生 終了式 及び 歓送会



地区米山記念奨学委員長 近森 裕子

春の暖かさをようやく感じられるようになったこの季節に、2016 学年度 米山記念奨学生の終了式が3月18日(土) ホテルきららリゾート関空にて執り行われました。



卒業してゆく学生たちは、皆、優秀で、この後も社会人として輝かしい活躍を期待できる人物ばかりです。そして、大学生活だけでは決して得られなかった貴重な経験だと、卒業生達も言ってくれておりました。これまでのロータリーでの経験を胸に、きっと大きく羽ばたいて行くことでしょう。

経済の第一線で活躍するロータリアンとの交流は、学生たちにとって何物にも代えがたい宝物の様な経験になった事と思います。米山記念奨学事業の特徴は、他の民間奨学金制度には見られない、ロータリアンとの交流です。これは将来まで続く深くて良い絆を育むためであり、ひいてはそれが、民間レベルでの国際親善となること。皆さまご存知の通り、米山記念奨学事業は国際親善事業であり、人材育成事業です。

米山を卒業した後も、米山学友としてロータリーとの絆を育てていって欲しいと思います。卒業後も、お世話クラブ様に近況報告などくれれば嬉しく思います。

今年度の奨学生達の未来を、健康を、そして活躍をこころより祈念いたします。



卒業 おめでとう

クラブ活動報告

熊本地震復興支援チャリティーコンサート

大阪狭山ロータリークラブ 会長 吉川 寿一
社会奉仕委員会

2月25日(土)午後、加藤ヒロユキ音楽のソムリエが率いる「チャリティー音楽の会」が主催し大阪狭山市、大阪狭山ロータリークラブの後援の下、熊本県の200名余の犠牲者と16,000世帯の家屋被災者の為に、その復興を推進して安心生活の早い回復を願って「熊本地震復興支援チャリティーコンサート」が開催されました。



SAYAKA ホールの小ホール (368 人収容) が超満員で2時間たっぷりとお加藤ヒロユキさんの歌や語り、加えて金関 環さんのバイオリン演奏、村尾亜計実さんのピアノ伴奏を堪能しました。コンサート終了後も出演者全員が自ら募金箱を手にし、ホール出口に立って、興奮冷めやらぬ観客に向け募金活動もされていました。そのおかげで多額の義援金 (65 万円) が集まり、早速、熊本県東京事務所に送りました。

会場には 2640 地区の山田義夫 代表幹事はじめ、南輪会 (IM5 組) のロータリアンも多数来場され、我クラブ会員が受付・観客の誘導案内に務め、開場に至りました。



この日の午前には、西野社会奉仕委員長、米澤青少年交換委員長の尽力による、長期の課題であった青少年交換学生と狭山中学校生徒との交流会 (金剛コミュニティ新聞 3/23 付 掲載予定) に会員半数が参加していました。そのあと3人の交換学生とそのホストファミリーを含め、このコンサートに合流しました。二つの大行事が重なった日となりました。



地域情報サイト 泉北・金剛さやまコミュニティから転載

元々この企画は新入会員の社会奉仕委員桑原会員の提案によるもので、知己の加藤歌手の行動力、集客力の確信の下、我クラブ全会員の支持、協力があつたからこそ成功裡に達成できたものと考えています。

チューリップリレー 卒業記念アルバムの贈呈

和歌山西ロータリークラブ

■チューリップリレー

和歌山大学、のぎき幼稚園で実施。卒業する先輩から、未来の後輩へ。心をつなぎ、花をつなぐチューリップリレーです。(チューリップをバトンに見立て命名)

『チューリップリレー in 和歌山大学』

ご指導：きのくに青雲高校 村崎先生

参加者：留学生 8 名

日 時：2016 年 12 月 2 日 (金)

午前 9 時 30 分～11 時

場 所：和歌山大学教育学部実践センター花壇

午前 9 時 30 分に留学生が現地に着。先着されていた村崎先生はすでに花壇を耕うんして下さっていました。お忙しい中ありがとうございます。心から感謝申し上げます。周囲の柵近くや、木の根元など、耕うん機が使えない場所をスコップで草の根を取りながら耕しました。お天気が良い分大変地面が硬く、12 月と言うのにみんなのひたいにはすぐ汗が出てきましたが、こうしてふかふかになった花壇の土が、球根を守り、育てくれるのだと思うと、とてもうれしい気持ちになりました。球根の植付け方を先生に教えて頂きながら、あつと言う間に植付けが完了！赤、白、黄色の 3 色を順番に植えました。球根は 200 球用意しましたが、少し足りませんでしたので、村崎先生に補って頂きました。次年度はより多くの球根を用意したいと思います。



植付け終了後、新しいプレートの花壇の南角に設置しました。左から袁君、陳さん、喬君です。とても楽しくお話をしながらにぎやかに 2016 年度の「チューリップリレー」が終了致しました。ご参加頂いた、村崎先生と和歌山大学留学生の皆様、本当にありがとうございました。留

学生の先輩から未来の後輩へ。チューリップに銘々の思いを託した、チューリップリレー。これからも続けて行きたいと思いました。

幹事 主井 知子

■卒業記念アルバムの贈呈

和歌山大学の留学生に在学中の思い出をまとめた卒業記念アルバムを贈呈する取り組み。留学生に卒業後も日本での生活を振り返ってもらえるようにと、20 年以上前から毎年、実施しています。

ご卒業される留学生の皆様へ

会長 寺坂 義章

この度は、ご卒業、ご進学、ご就職、誠におめでとうございます。歓びの舞台にこうして一緒に参加できることを大変嬉しく感じています。



皆様が私たちの例会をご訪問下さったこと、またロータリーのライラセミナーやチューリップリレー、紀の川清掃にご参加下さったこと、交換学生プログラムにご助力下さったこと等々、共に活動下さることをいつも心強く思いました。このような協同活動を、在校生の方々にバトンをお渡し頂いて、未来へ繋いで頂けたら誠に幸いです。そして大学生活で学んだ多くの事柄を生かして、順風満帆に歩まれんことを、心から祈念申し上げます。簡単ではございますが私のお祝いの言葉とさせていただきます。

どうぞご卒業されても、我が和歌山西ロータリークラブを忘れず、お近くへお越しの際にはいつでも例会をご訪問下さい。会員一同心から歓迎致します。

2016 年 8 月、当クラブの姉妹クラブ、コンコード・ダイアブロ RC より交換学生・ガルシア君(写真左より 2 人目)の受入れプログラムでは、留学生の皆様



様に和歌山大学見学会を開催して頂き、心に残る思い出の 1 ページを作ることができました。ありがとうございました。 担当 竿本 秀雄

台南中区扶輪社（ロータリークラブ）との強い絆

堺おおいずみロータリークラブ 会長名 丸山 孝明

堺おおいずみロータリークラブは、昭和 59 年（1984 年）10 月 31 日堺東ロータリークラブをスポンサークラブとして、堺市で 8 番目のクラブとして発足しました。そして創立 5 周年記念例会で台南中区扶輪社と国際姉妹提携締結調印を行い現在 27 年になります。



平成 26 年（2014 年）の創立 30 周年には台湾からも多くのメンバーが来日し、また昨年（2016 年）5 月には、台南中区扶輪社 30 周年記念例会に、日本より会員・家族 36 名が参加し、台湾一周列車での記念旅行にも同行しました。



このような深い絆で結ばれた中で、本年度開始早々の 7 月に大きな事業を行なうことができました。「台南中区扶輪社との青少年交換事業」です。平成 28 年（2016 年）7 月 29 日（金）午前 11 時関西空港に台湾から 3 人の若き親善大使を迎える

ことができました。来日した 3 人は、「林昶成（ポール・リン）君 21 歳、陳冠寧（チェン・クアン）君 18 歳、趙孟賢（メンシオン・チャオー）君 18 歳」です。3 人は堺おおいずみロータリークラブ会員 3 名のお宅でホームステイを体験していただき、日中は、メンバー全員で交代に盛り沢山のメニューを準備し、同行しました。来日当日の 29 日（金）は、メンバーのチョコレート工場の見学と美々卯のうどんすきで日本食を味わっていただきました。30 日（土）は大阪市内を大阪城・ハルカス・梅田等、地下鉄や環状線を乗り継ぎ市内観光を楽しんでいただきましたが、当日は快晴猛暑で案内したロータリーメンバーの多くがバテたようです。31 日（日）堺市内観光として利晶の杜・抹茶体験・自転車博物館そして南海グリルでクラブ主催のウェルカムパーティー、そして堺大魚夜市に参加しセリ台にも上がってセリの体験をしていただきました。8 月 1 日（月）は、西区土佐堀の台湾領事館を訪問し歴史とか現状のお話しを聞かせて頂き、午後から



大阪府立大学で国際交流のお話しを聞かせて頂き、その後 PL の花火見学でメンバー知人の会社のビル屋上から、目の前での素晴らしい花火を楽しみました。2 日（火）は終日京都見学、伏見稻荷・高台寺等祇園での舞妓さんとのツーショットのサ



プライズやお寿司握り体験と充実した一日でした。3 日（水）最終の一日です。明日が帰国となりますので、お土産のショッピングに最近出来

た堺鉄砲町のイオンモールやダイソー等に同行し、お昼はクラブ例会にホームステイ会員家族も一緒に参加していただき盛り上がる楽しい例会となりました。4 日（木）帰国の日です。関西空港でメンバーがお見送りする中、12 時の飛行機で無事台湾に帰国しました。夕方には、無事台湾に到着した旨のメールが台湾メンバーより入り、無事「台南中区扶輪社との青年交換事業」を終了することができました。堺おおいずみメンバーが一つになって取り組んだ一週間でした。皆様に心より感謝します。ありがとうございます。

フィリピン・セブ島の離島で 「水 支援プロジェクト」

日本・台湾・フィリピンのRCが協力

海南東ロータリークラブ

海南東RCは、海南西RC、台湾・彰化東南RC (D-3460 台湾)、フィリピン・マンダウエ イーストRC (D-3860) と協力して、フィリピン、セブの離島 (PANGAN-AN ISLAND) で「水支援プロジェクト」を行いました。

海南東RCとフィリピンのマンダウエ イーストRCとは友好クラブとして、2003年から多くの奉仕プロジェクトに取り組んできました。今回、海南西RC、姉妹クラブの台湾 彰化東南RCにも協力を要請し、取り組むことになりました。
(視察の記録写真は海南東 RC facebook ページに掲載)

今回の水支援プロジェクトの背景は、昨年、実施した「女性の就業支援プロジェクト (ミシン寄贈)」の視察中で立ち寄った、マンダウエ イーストRCが別プロジェクトで取り組んでいる水と教育の支援として、水不足で困っている離島に160個のポリ



リタンクとアメリカからの古本を寄贈するものでした。この島では、井戸水も無く、飲料水は雨水に頼っており、集会所や小学校に小規模な給水タンクがあるだけで、不足分は船で運搬することでした。フィリピンには、約7,000以上の島があり、私達は帰国後、良い方策がないかを調べた結果、海水から太陽光によって、安価で簡単に真水を使って作り出す事が出来る「Watercone」を見つけました。「Watercone」は、直径約70cmの皿の上に円錐形のUV性のポリカーボネートの透明な上蓋を載せ、太陽光によって蒸発した水を取り出すもので、1日当たり1.0~1.7リットルの凝縮水を生成することが出来ます。



給水タンクがあるだけで、不足分は船で運搬することでした。フィリピンには、約7,000以上の島があり、私達は帰国後、良い方策がないかを調べた結果、海水から太陽光によって、安価で簡単に真水を使

<http://www.watercone.com>

私達は、2017年3月2日から6日まで、フィリピン セブ島を訪問しました。海南東RCからは、会員、家族を含め計9名が参加。関西空港からセブ・マクタン空港への直行便で出発し、姉妹クラブの彰化東南RC (8名)と現地の友好

クラブのマンダウエ イーストRC (10名)と合流しました。視察では、セブ市の対岸に位置するマクタン島の



コルドバ地区から、船で約1時間のパンガン島 (PANGAN-AN ISLAND) へ向かいました。島はリーフに囲まれ、水深が浅く、港も栈橋がありません。このため、沖合いから、迎えの小船に



分乗して上陸しました。島には、約3,000人の住人が小規模な漁をしながら、細々と生活している様子です。当然、衣食住の生活環境も厳しく、特に生きていくための



「水」は必需品です。飲料水は唯一、雨水をタンクに貯めたものが頼りですが、乾季には雨も少なく、貯水量は乏しく、マクタン島からの船での輸送に頼っています。このため、プロジェクトでは、安定して飲料水を確保できるようにすることを目的に

「Watercone」を各家庭へ設置することを計画しました。さらに、彰化東南RCの支援でこの水を貯めるポリタンクを寄贈しました。このプロジェクトが成功すれば、更に来期に数を増やし、また、他の多くの島での活用が期待できます。世界中で活用できます。3月は「水と衛生月間です」今後も支援活動の輪を広げていきたいと思



創立 60 周年記念事業について

泉大津ロータリークラブ

2015-2016 年度会長 森口 和信
60 周年実行委員長 高寺 壽

泉大津 RC は発足以来、周年行事として「四つのテスト」の石碑を中心にロータリーの森等の



泉大津市ホームページから転載

記念事業を実施してまいりました。近いところでは 40 周年にきららタウンのポートサービスセンタービルの隣に「礎のモニュメント」、50 周年には泉大津駅東口ロータリーに「ロータリーの標」として風力発電・

太陽光発電装置、55 周年には泉大津市の教育委員会・文化財保護委員会の協力を得て、市内のウォーキングと歴史を楽しんで頂けるイラストマップ「散策いずみおおつ」並びにイラストマップに対応した DVD、DVD レコーダーを泉大津市に寄贈しました。

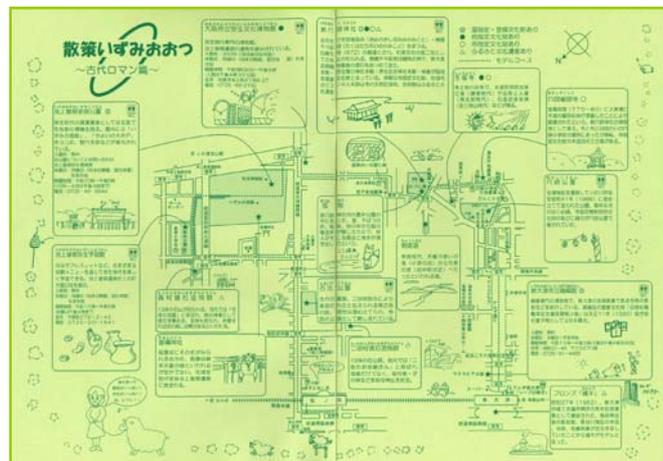
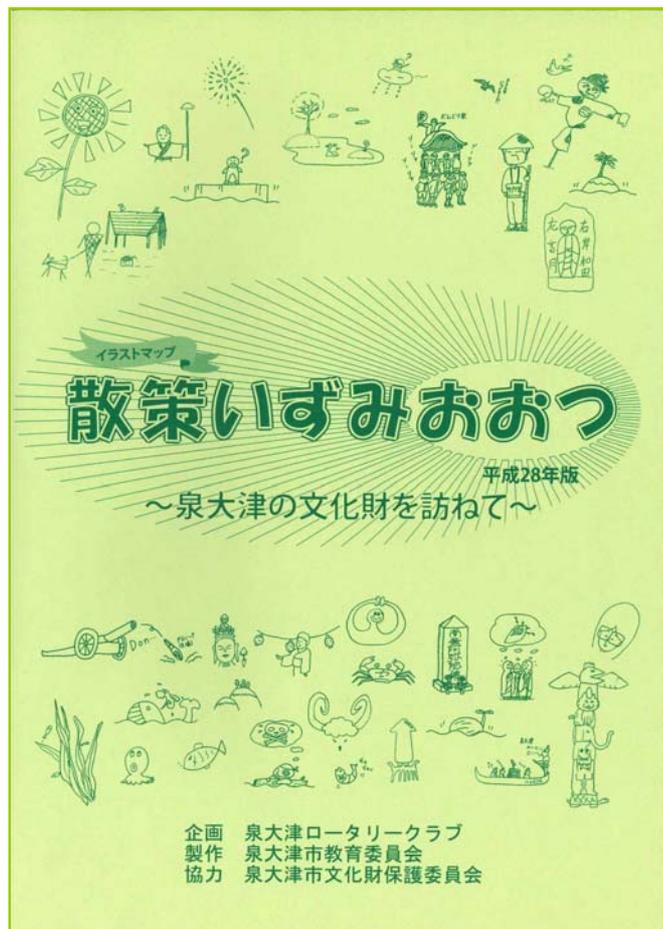


今回の 60 周年記念事業は、泉大津市が進めている安心安全な街づくりの「セーフコミュニティ」の構築の一助になればと、泉大津警察署のご指導を頂いて市内 3 カ所の駅前に防犯カメラの設置をしました。また、55 周年に作成したイラストマップ「散策いずみおおつ」が好評で増刷の要望もあることから、市の教育委員会の協力を得てこの 5 年間の新しいデータを加味した改訂版を作成いたしました。



防犯カメラは、①泉大津駅周辺に防犯カメラ 9 台、松ノ浜駅周辺に 2 台、北助松駅周辺に 3 台の計 14 台、②イラストマップは 8,000 部を其々泉大津市様に寄贈致しました。これらが、市民の皆様の安心安全及び小中学校の皆さんや市民の皆様の教育や文化活動の一助となれば幸いです。是非有効にご活用頂くことを会員一同願っております。 (文責 高寺 壽)

イラストマップ「散策いずみおおつ」



創立 25 周年記念事業

田辺はまゆうロータリークラブ

平成 29 年 2 月 25 日 (土)、紀伊田辺シティプラザホテルにて「創立 25 周年記念祝賀会」を開催させて頂きました。



田辺はまゆうロータリークラブ 創立25周年記念式典祝賀会 平成29年2月25日 於紀伊田辺シティプラザホテル

当日は、真砂充敏田辺市長様、福井隆一郎ガバナール様、国際ロータリー第3ゾーンRRFC村上有司様、田辺ロータリー、田辺東ロータリー、白浜ロータリーの各会長幹事様始め、多くの方々のご参加を頂き開催されました。



私たち田辺はまゆうロータリークラブは、25年前の平成4年、1992年1月21日(火)に創立されました。創立総会が、同じ日に総勢148名の参加の下盛大に行われています。平均年齢が若いこと、女性の会員の割合が高いこと、そして、夜間例会である事などの特色は、発足当時から変わっていません。

私たちの一年間の事業は、紀南病院でのハートフルコンサートの後援、天神崎クリーン作戦への参加、年2回の献血活動、闘鶏神社の清掃活動、児童養護施設ひまわり寮への寄付等々です。



今回の記念事業は、田辺市消防本部へ赤色回転灯を装備した消防指揮広報車「プリウス」1

台、AEDトレーニングユニット、救命講習用人形資機材5体を寄贈致しました。

又、闘鶏神社様へはステンレス製の英語版案内掲示板を贈呈致しました。

消防指揮広報車につきましては、現在の広報車は10年以上使っているもので、装備も新しくなった事と燃費が良いので大変喜んで頂きました。救命講習用資機材につきましては、子どもや幼児が悪くなった時の救命方法を、お母様方に指導訓練するための人形で、毎年何百回もの講習会で使用しているとの事で、これも大変喜んで頂きました。また、闘鶏神社様に贈呈



致しました英語版案内掲示板は、最近特に海外の方の訪問が増えて、現在の木製の案内板が少々見えにくくなってきていたもので、これも大変喜んで頂きました。

昨年10月、私たちの例会場であります闘鶏神社は、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に追加登録されました。私たちは、世界でも数少ない、世界遺産で例会を行っているロータリークラブになります。私たちは、この事に恥じないようなクラブへと成長していきたいと思っています。

現在の田辺はまゆうロータリークラブが在るのは、田辺、田辺東、白浜の各ロータリークラブそして、国際ロータリー第2640地区の皆様方のご支援があったからこそであります。今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



堺中ロータリークラブ

会 長 高安 史仁

テーマ 『リーインカーネーション……輪廻』

私達のクラブは、堺9RCの中では最も若い創立26年です。会員数も22名と多くはありませんがロータリー精神に基づき全員一丸でいろいろな事業に携わっております。

有能有識なベテラン会員、実行力溢れる中堅会員、新進気鋭の若手会員が功く融合し、それが小回りの利いた活動の源泉となっています。特筆すべきは会員相互が大変仲が良いということです。例会は常に笑顔で溢れ私が入会以来口争いすら見聞きしたことはありません。

①クラブ奉仕部門 ②職業奉仕部門 ③社会奉仕部門 ④国際奉仕部門 ⑤青少年奉仕部門

今期はロータリーの5つの奉仕の内③と⑤（社会奉仕と青少年奉仕）として、堺市内の4支援学校の生徒との交流（ディナー講習会）や④（国際奉仕）の台湾・台中西屯RC、韓国・済州耽羅RCとの親善交流 又①（クラブ奉仕）は大変楽しい家族会を2回開催しました。

テーマのReincarnationとは、私達の全ての奉仕はやがて私達に還って来ると言う信念のことです。



羽衣ロータリークラブ

会 長 岩田 博生

テーマ 『 青少年奉仕 』

2月19日、青少年委員会、各インターアクトクラブによるタイ海外研修報告会に参加いたしました。各学校やグループによる海外研修で、ホームステイにてお世話になった話や、家族の話や、食べ物の違い、タイ観光での感動や異文化に触れて楽しかった話、つらかった話などのスライドや写真を用いて報告していただきました。インターアクト青少年活動による色々な体験は、将来の人生に大変役立つことと思います。海外研修に同伴された先生方や、提唱クラブの会員の皆様は、どんなに大変であったかと思えます。皆様の奉仕の精神に、敬服致します。



以前、高石市の障害者とのふれあいボーリング大会を開催していた時、ボランティアとしてインターアクト、ボランティア部、青少年交換留学生、米山記念奨学生、福祉学校、看護学校生の皆さんに手伝っていただきました。ボランティア学生と障害者、そして家族や先生が、介助機をうまく利用しながら、楽しくボーリングを行っていました。最初は、緊張しながらプレーしていましたが、一般の学生とだんだんと解け合って、笑いの絶えないボーリング大会になりました。大会後、学生たちに感想を述べてもらおうと、楽しかった、素晴らしい体験をしましたと感謝されました。皆様に喜んでいただき、当クラブの社会奉仕活動を企画してよかったと感じたことを思い出します。ロータリー活動は青少年活動に大いに役に立ちます。今後も色々な企画を考えていただきたいと思います。インターアクトを提唱するロータリークラブの運営は大変だとは思いますが、学生たちの為にもよろしくお願いします。地区からの資金援助や、各クラブで助け合う必要があるのではないかと感じます。皆様のご一考をお願いいたします。

堺ロータリークラブ

会 長 近藤 徳雄

テーマ 『 希望は心の力 』



人間の受ける苦しみは、みな同じです。人を喜ばせることができたら嬉しい、そう認識できたときに初めて、人間の生きる意味が何なのかを人は直観します。自分がこうしてほしいと思うことを人にする。人柄の美しさは、その自由のもと、ある犠牲が払われたときに現れてくるものです。その機会を私たちは常に与えられています。人生とは、たまたま今、隣にいる人への愛を發揮する場の連続、愛を交換する場の連続だと、希望に満ちて人生を見ると世界は輝き始めます。私は今期のテーマを“希望は心の力”と致しました。

日常業務の反復の中で自分の頭で考えようとせず、自己を周りの環境に委託してしまうことに安住しているだけの毎日には残念ながら希望はありません。私達ロータリアンは知性を磨き、生きる目的、働く目的を真に理解できます。希望を見出す為の第一歩は、まず自分の頭で思考することから始まります。希望は自分で探し求めなければなりません。希望は与えられるものではなく、自ら考え、見いだす、心の力だからです。人と人とが構成している社会に生きる私達の希望とは、ほだしや倫理と係わり、自分を反省する事に関わっては来ないでしょうか。希望は倫理と結び付くと思いません。Ethics pays とされている現代社会の単なる就業規則レベルでしかない職業倫理、そして私達ロータリアンの最高条件を目指す職業奉仕の精神。職業奉仕一つを取ってみましても、この様に最低条件と最高条件ほどの隔たりがあります。こうした二つの環境の中にクラブ活動は有ります。国は、そこに集まった人が一緒に生活していく為に組織立てていった制度に過ぎないのです。しかし、友情は道德なのです。私は皆さんと階級や有能性、経済力では無く、全人類の時限で話し合っていきたいのです。国家の枠を超える人類の倫理を。それを出来るのがこのクラブ、そして、この事が正に“ROTARY INTERNATIONAL”の意義だと考えて居ります。

堺清陵ロータリークラブ

会 長 梅香路 正

テーマ 『 奉仕の喜びを 』

堺清陵ロータリークラブでは、毎年視覚支援学校と協力して、老人ホームを慰問し、マッサージの奉仕活動をしています。以前視覚支援学校の小学生を、会員の畑で育てたお芋掘りに招待した時、生徒達は大変喜んでくれました。後日生徒達からのお礼の手紙に、今は亡き会員が涙された姿が忘れられません。善いことをし、相手に喜んで頂き、それで私達も共に喜びを分かち合えたらと思ひ、このテーマにしました。

堺大魚夜市・紙ひこうき大会・堺かるた大会への参加・青少年交換学生・米山記念奨学生の受け入れ等、会員一丸となって奉仕活動を実践し、喜びを分かち合っています。また、今年度はここ数年来、フィリピンの恵まれない子供達の支援を通じて協力関係にありましたマラボン・ハイランドロータリークラブとの友好クラブ締結を行いました。

少人数のクラブではありますが、これからも益々充実した奉仕活動を実践してまいりたいと思っております。



写真上段左から、マラボン・ハイランドロータリークラブと友好クラブ締結の記念写真、視覚支援学校のマッサージ奉仕活動、堺かるた大会の堺清陵杯・下段はフィリピンの恵まれない子供達への支援



堺東南ロータリークラブ

会 長 黒田 征樹

テーマ 『 先人が築いた誇れる地域を世界に 』

ジョンF. ジャーム会長は「単にロータリアンの数を増やすことではなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなるロータリアンを増やすこと」だとおっしゃっています。これを実現するためにまずは、クラブ内の意識を高め、地域住民の意識向上に貢献しなくてはなりません。



堺東南ロータリークラブは先輩方が1970年から47年にわたり活動を引き継いできた結果、地域では豊かな心を持った住民が増え、誇れる地域となりました。現役ロータリアンの責務は先輩方が築いて下さったこの地域をさらに発展させ日本中に波及させることです。そのためには一人ひとりが先人・家族・仲間・地域など身の回りに溢れるすべてに感謝の気持ちを忘れず、情熱を持って挑戦し続ける精神力を持つことが必要です。



これが、まさに前年度クラブ方針の一燈照隅・萬燈照国の精神で、ジョンF. ジャーム会長と福井ガバナーが目指すロータリアンの成長にもつながり、未来のロータリアンの育成にもつながると信じております。

第2640地区 会員数・出席報告 (2017年2月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	2月出席率	平均出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	2月出席率	平均出席率
	16.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計					16.7.1	2月末	2月	累計	2月	累計			
有田	27	26	1	2	1	3	4	84.12	84.47	那智勝浦	17	17	0	0	0	0	4	81.25	80.54
有田2000	18	18	0	0	0	0	4	80.56	90.80	堺利晶	8	0	0	0	0	8	0	0.00	0.00
有田南	31	30	0	1	0	2	4	90.41	88.92	大阪金剛	16	16	0	0	0	0	4	81.30	84.20
ワールド大阪	24	26	1	4	0	2	4	100.00	100.00	大阪狭山	11	13	0	2	0	0	4	94.20	94.70
Rotary E-Club Sunrise of Japan	16	20	0	5	0	1	2	85.00	90.45	りんくう泉佐野	17	17	0	0	0	0	4	85.94	89.57
御坊	42	42	1	1	0	1	4	79.87	80.66	堺	56	60	0	6	0	2	4	95.62	94.06
御坊東	16	19	1	3	0	0	3	72.81	78.55	堺東	27	27	0	0	0	0	4	95.19	95.32
御坊南	29	29	0	0	0	0	3	95.24	90.89	堺フラワー	13	3	0	0	0	10	2	100.00	75.00
羽曳野	14	15	1	3	0	2	4	89.20	92.27	堺泉ヶ丘	21	21	0	0	0	0	4	96.43	93.75
羽衣	15	15	0	0	0	0	4	78.30	80.66	堺中	22	22	0	0	0	0	4	76.25	78.17
橋本	52	51	0	0	0	1	4	91.50	94.47	堺北	30	31	0	2	0	1	4	89.51	90.60
岩出	26	28	0	2	0	0	3	90.48	90.02	堺おおいずみ	32	31	1	1	0	2	4	79.51	81.18
和泉	21	25	0	5	0	0	4	95.65	95.53	堺フェニックス	32	107	23	88	1	10	2	100.00	100.00
泉大津	39	41	1	4	0	2	4	90.70	91.63	堺清陵	22	21	0	0	1	1	4	86.11	89.58
泉佐野	27	28	0	1	0	0	4	88.50	95.66	堺南	11	11	0	0	0	0	4	97.50	96.28
和泉南	34	33	0	1	0	2	4	68.34	64.94	堺東南	10	9	0	0	0	1	4	79.86	86.17
海南	25	25	0	0	0	0	4	67.00	69.80	新宮	52	53	0	2	0	1	3	76.10	71.92
海南東	44	43	0	1	0	2	4	67.44	70.72	白浜	10	10	0	0	0	0	3	86.67	94.27
海南西	20	19	0	0	0	1	4	82.36	82.70	太子	13	16	1	3	0	0	4	84.40	84.20
貝塚	16	17	0	1	0	0	2	94.12	95.79	高石	27	28	1	1	0	0	4	74.75	75.26
貝塚コスモス	12	11	0	0	0	1	3	96.66	90.27	高師浜	14	13	0	0	0	1	3	94.87	91.25
関西国際空港	20	20	0	1	0	0	4	91.25	92.92	田辺	82	86	1	6	0	2	4	85.80	86.66
河内長野	21	20	0	2	0	1	4	80.50	83.70	田辺東	47	50	0	4	0	1	4	88.36	91.21
河内長野東	23	22	0	0	0	1	4	85.64	84.39	田辺はまゆう	42	43	0	3	0	2	4	79.27	77.93
河内長野高野街道	13	14	0	1	0	0	3	64.30	68.90	富田林	34	34	0	0	0	0	3	65.63	71.11
岸和田	30	29	0	0	0	1	4	81.60	80.79	富田林南	12	12	0	0	0	0	4	75.00	79.60
岸和田東	38	39	2	3	0	2	4	97.14	97.56	和歌山	64	68	0	4	0	0	4	75.82	79.61
岸和田南	11	10	0	0	0	1	4	85.00	85.03	和歌山アゼリア	32	32	0	1	0	1	2	77.99	82.82
粉河	18	18	0	0	0	0	4	100.00	97.54	和歌山東	42	44	0	3	0	1	4	93.85	87.51
高野山	17	17	0	0	0	0	4	86.50	83.34	和歌山城南	41	43	0	4	1	2	4	72.57	76.94
KUMATORI 向日葵	5	7	1	2	0	0	2	100.00	100.00	和歌山中	30	29	0	1	0	2	4	84.43	80.94
串本	11	12	0	1	0	0	4	85.42	78.93	和歌山北	36	37	0	4	0	1	3	74.24	74.34
松原	16	17	0	1	0	0	4	93.83	93.07	和歌山南	75	80	0	6	0	1	4	79.04	81.85
松原中	26	28	0	2	0	0	4	72.55	81.32	和歌山東南	44	42	0	0	0	2	4	89.17	86.23
美原	6	6	0	0	0	0	3	100.00	99.00	和歌山西	13	12	0	2	0	3	4	81.82	84.48

クラブ	7月1日 会員数				2月末 会員数				月平均出席率	入会		退会	
	男性	1,689	女性	169	男性	1,770	女性	188		2月	累計	2月	累計
69	1,858				1,958				85.37	36	190	4	81

地区行事予定

2017年		4月 母子の健康月間 (Maternal and Child Health Month)	
日	曜日	行事(時間)	会場
9	日	地区決議会(地区立法案検討会) (14:00~16:00)	和歌山県JAビル
15	土	高石ロータリークラブ 創立50周年記念式典	南海グリル
16	日	PETS ②	ダイワロイネットホテル和歌山
		青少年交換受入学生第3回オリエンテーション	りんくう国際物流センター
18	火	有田南ロータリークラブ 創立40周年記念例会・式典	橘家
22	土	和歌山ロータリークラブ 創立80周年記念式典	ダイワロイネットホテル和歌山 4F
23	日	2017学年度 米山記念奨学会 カウンセラー・奨学生オリエンテーション	南海グリル
		ローターアクトクラブ三役研修会 (13:30~17:00)	松原商工会議所 5F
25	火	堺東ロータリークラブ 創立45周年記念式典	ホテル・アゴラリージェンシー堺 4F

2017-18年度テーマ「ロータリー:変化をもたらす」

RI会長エレクト イアン H.S. ライズリー



国際ロータリー第2640地区

ガバナー事務所のご案内

〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1
 ポルタスセンタービル1階101号室
 TEL (072) 223-1000
 FAX (072) 223-1005
 URL : <http://rid2640g.com/fukui/>
 E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp



Rotary International Convention
 HOST ORGANIZATION COMMITTEE

Rotary



米国・ジョージア州アトランタ

2017年6月10~14日

www.riconvention.org/ja



世界から
ポリオをなくそう
 人類のために支援しています。

END POLIO NOW
www.rotary.org

Rotary  国際ロータリー
 第2640地区